

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		地域生活支援事業費 [訪問入浴サービス事業]									
予算科目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	4	障害者福祉費	事業番号	6
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input checked="" type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	障害福祉 課 障害福祉					係	課長名		大法 努		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	2 - 3		
【施策名】 障害者福祉の推進								総合計画書 (ページ)	55		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	①身体障害者手帳2級以上の者 ②愛の手帳2度以上の者 ③前2号のほか、市長が必要であると認める者					①身体障害者手帳所持者(1~2級) 手帳所持者のうち特に重度の者を対象指標とする。 → ②愛の手帳所持者(1~2度) 手帳所持者のうち特に重度の者を対象指標とする。					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)					
	・入浴の困難な在宅の障害者の入浴の機会を保障して、地域で安心して生活を送ることができるようにする。					→ 利用者数/重度障害者数					
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)					
	・入浴の困難な在宅の障害者に対し、週1回入浴巡回車を派遣し、組立式浴槽による入浴介助を行う。					→ 利用者数					
			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標			
対象指標	①の数値	人	1,542	1,510	1,519						
成果指標	②の数値	%	0.6	0.6	0.6						
目標	②の目標値										
目標値設定の考え方 対象者が適正に利用できるよう事業を執行する。申請に対して適正に利用させる事業である。											
活動指標	③の数値	人	10	10	9						
3 経費	事業費(実績)		円	5,431,200	5,108,400	4,708,500	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	2,777,200	2,456,400	2,488,500					
		特定財源(国・都・他)	円	2,654,000	2,652,000	2,220,000					
		(うち受益者負担)	円								
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.05	0.05	0.05					
		所要人数(再任用)	人								
		職員人件費(再任用以外)	円	415,500	419,000	412,500					
職員人件費(再任用)	円										
事業費+人件費		円	5,846,700	5,527,400	5,121,000						
4 環境変化等	(1) 開始年度	昭和59 年度									
	(2) 環境の変化	・平成18年に障害者自立支援法が施行され、市町村事業である地域生活支援事業に位置づけられた。原則、国1/2、都1/4の補助。 ・26市中24市で実施。									

事業名称	地域生活支援事業費 [訪問入浴サービス事業]			
担当部署・課長名	障害福祉	課	障害福祉	係 課長名 大法 努

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者は微増傾向。在宅の最重度障害者の生活支援の重要な施策のひとつである。 ・介護保険制度でも同様のサービス（介護保険の対象者は介護サービスに移行する。）があり、利用者は事業所との契約により一部負担をして利用している。 			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ <input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 特になし			
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） 特になし			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。 特になし			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 特になし			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 障害者福祉の推進 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 事業を現状通り運営していく。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 特になし			
10	上半期終了時点の状況（令和4年9月末記入）			